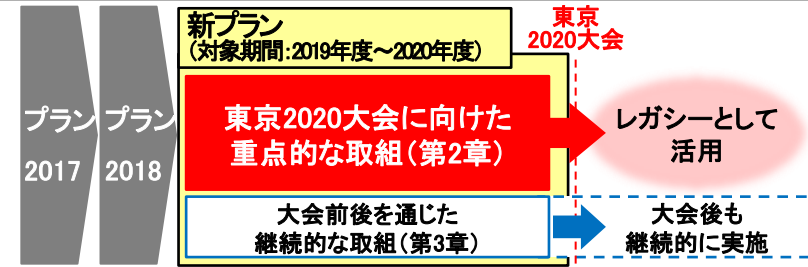


第1章 基本的な考え方

- ◆昨年度策定した「東京都観光産業振興実行プラン2018」をベースに、「さらに強力で推進が必要な分野」や「新たな対応が求められる分野」など、東京2020大会に向けて重点的に取り組むべき施策を選定。
- ◆重点的な取組の成果を大会後にレガシーとして活用するとともに、大会前後を通じた継続的な取組も着実に実施することで、大会開催を観光産業の飛躍に確実につなげていく
- ◆計画の対象期間は東京2020大会の開催される2020年度までとする。



第2章 東京2020大会に向けた重点的な取組

重点テーマ1 世界のおもてなし都市・東京の実現 ～あらゆる旅行者を歓迎する東京～

1. 観光案内機能の充実

- ・観光ボランティアの育成・活用
- ・災害時における観光案内インフラ等の活用 等

2. 多言語対応の強化

- ・旅行者とのコミュニケーション円滑化支援の強化 等

3. 宿泊施設のバリアフリー化の推進

- ・一般客室を活用した宿泊施設のバリアフリー化支援
- ・旅行者へのバリアフリー情報発信の強化 等

重点テーマ2 世界の旅行者を楽しませる旅行体験の創出 ～多彩で良質な体験ができる東京～

1. ナイトライフ観光の推進

- ・ライトアップ等による演出への支援の強化
- ・夜に楽しめるコンテンツの充実
- ・ナイトライフの情報発信の強化 等

2. 都内各地域の多彩な魅力の開発と発信

- ・東京2020大会を生かした大規模イベント等への支援
- ・多様な主体の連携による地域の観光資源開発
- ・多摩・島しょ地域における観光資源の開発・発信 等

重点テーマ3 旅行地としての世界的な認知度の向上 ～グローバルに魅力を発信する東京～

1. 大会開催に向けた観光プロモーションの展開

- ・国ごとの市場の状況を捉えた効果的なPR
- ・アイコンを活用した旅行者受入の機運醸成 等

2. 海外企業のビジネスイベントの誘致

- ・誘致に向けたプロモーションの強化
- ・ユニークベニューの活用促進 等

3. 日本各地と連携した旅行者誘致

- ・日本各地との連携の強化 等

第3章 大会前後を通じた継続的な取組

- ◆東京2020大会を契機として観光産業を飛躍させていくためには、将来像を見据えた中長期的な視点に立って、観光産業を支える基盤を継続的に強化していくことが必要。
- ◆「持続可能な観光」の観点から、旅行者と地域の住民との共存といった視点も見据えていく。

1. 経済波及効果に注目した旅行者誘致

- ・富裕な旅行者層の誘致
- ・国際会議誘致・開催支援の強化
- ・MICE開催都市としての基盤整備

2. 持続可能な地域の観光振興

- ・地域の観光関連団体の経営力の強化
- ・多摩・島しょ地域の基盤整備

3. 観光関連事業者の経営力向上への支援

- ・観光関連事業者のインバウンド対応力向上への支援
- ・観光人材の育成
- ・快適な滞在環境の整備

第4章 東京2020大会のレガシーを生かし共存共栄へ

- ◆本プランによるレガシーを大会後の観光産業の発展の礎とするとともに、東京の活力を日本各地へ波及させ、東京と日本各地の共存共栄を図る。